

日農マサカリLジャンボ

[インダノファン・クロメプロップ・ベンスルフロンメチル粒剤]

農林水産省登録 第20423号

有効成分 インダノファン…2.8%
クロメプロップ…7.0%
ベンスルフロンメチル…1.0%

性 状 類白色細粒、水溶性パック入り、1パック50g

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：3年 包装：
(50g×10)×20、(50g×30)×10 RACコード：除草[15][4][2]

特長

- ノビエ2.5葉期までの処理で高い除草効果を発揮する初中期一発処理剤です。
- コナギ、アゼナ、ホタルイなどのSU抵抗性雑草に優れた防除効果を発揮します。
- 多くの多年生雑草に有効であり、広い殺草スペクトルを有します。

効果、薬害等に関する注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、クログワイ、オモダカは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ藻類による表層はく離は発生前が散布適期である。
- クログワイ及びオモダカに使用する場合には、有効な他剤との組み合わせで使用する。
- 苗の植付が均一となるように代かきをていねいに行う。未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行う。
- 湛水状態（水深5～6cm）で投げ込み散布し、散布後は少なくとも3～4日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 小包装（パック）のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れる。
- 藻や浮草が多発している水田では拡散が不十分となり効果の劣る可能性があるため使用を避ける。
- 小包装（パック）に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手や汗ばんだ手で作業したり、降雨等で破袋しないように注意する。
- 移植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、物理的防除方法などを用いて移植前に防除してから使用する。
- 下記のような条件では薬害が発生する恐れがあるので使用を避ける。
 - 1)砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - 2)軟弱な苗を移植した水田
 - 3)極端な浅植の水田及び植付不良で根が田面に露出している状態
 - 4)強風下での処理
- 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用を避ける。
- 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意する。
- 散布田の水田水を他の作物に灌水しない。
- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしない。

- 使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 水溶性フィルムで小包装化されているため、通常の使用方法ではその該当がない。ただし、濡れた手で触らない。
- 水溶性フィルムが破袋した場合は以下の点に注意する。
 1. 誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。
 2. 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
 3. 皮膚に対して弱い刺激性があるので、付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
 4. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう注意して使用する。
- 散布後は水管理に注意する。
- 空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ クログワイ (北陸、九州を除く) オモダカ (九州を除く) ヒルムシロ セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	砂壤土～埴土	小包装 (パック) 10個 (500g)/10a	1回	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる。	北陸、関東・東山・東海、近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯
		移植後5日～ ノビエ2葉期 ただし、 移植後30日まで					九州の普通期栽培地帯
							九州の早期栽培地帯

インダノファンを含む農薬の総使用回数	クロメプロップを含む農薬の総使用回数	ベンスルフロンメチルを含む農薬の総使用回数
2回以内	2回以内	2回以内

製品写真



最新の登録内容はこちら

